



# 報 会

## 全国文化財壁技術保存会

第 21 号

令和三(二〇二二)年三月二〇日発行  
 編集 全国文化財壁技術保存会  
 発行 愛知県江南市力長町 大当寺二二八  
 事務局  
 TEL (〇五八七)五九一八〇〇〇

会長 安達保信



昨年も当会の関係各位様には、  
 多大のご支援を頂き誠に有難う  
 ございます。厚く御礼申し上げます。  
 お陰をもちまして活動を  
 進行させて頂いております事、  
 有難く思う次第であります。  
 令和2年度は、残念ながら世  
 界各地で蔓延しているコロナウ

イルスによる感染拡大により日  
 本各地でも蔓延の終息のきざし  
 もつかない中、当会でも各位の  
 健康、安全第一の理念のもと三  
 密を避けるため、総会は書面決議、  
 また各種研修会の中止をやむな  
 く決定致しました。次年度も状  
 態を確認しながら、また予防対  
 策を工夫しながら、徐々に再開  
 致したく思います。その中にあ  
 っても当会所属の「木造伝統建  
 築の匠の技」について、ユネス  
 コの無形遺産登録が令和2年12  
 月17日に決定されました。

これは関係職種の職人及び事  
 業者として永年継承されてきた  
 「技」が世界に認められた事実と  
 して、大変喜ばしく思う事であ  
 ります。他の関係17団体保存会  
 様と共に、慶祝の意を表する次  
 第であります。若手職人の「技」  
 の誇りとなり、また将来入職者  
 が増加する事を望みます。

他方、会の取組として継続中

の当会活動ビデオ制作が完成しました。今回の内容はPR用で、一般の人々に認知して頂くものです。次回からは技術の中身を掘り下げて、専門的な方面から制作してゆく予定であります。

他方、材料及び工具の確保が困難の度合いが深刻化しています。材料では、漆喰に混ぜる「ふのり」である「黒葉ぎんなん草」の採取の量が微量で、市中に出廻っていないのが現状です。工具の鋳製作も土壁に最適な種類がごくわずかで、若年技能者の入手困難の現状です。保存会としても制作業者の経営が成る様方策を講じ、支援出来ればと考えます。

等々問題山積ですが、他の保存会様と協力し合い、文化財保存の重要性を高め、世間に認知してもらおうべく努力するべきです。

壁の分野の種類も増加して居

ます。明治・大正期の建造物の指定も年々増加されていて、我々も技の錬磨をおこたらず対応せねばと思います。

なお一層の御支援、御協力を願います。

### 副会長 中嶋正雄



平素より関係各位の皆様には、当会の活動に格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウィルスが猛威を振るい私たちの日常生活に多大な影響を及ぼし、密閉・密集・密接のいわゆる三密をさける行動を取らざるを得な

い状況でありましたので、感染拡大防止のため密になりうる総会をはじめ研修会は中止となりました。また、令和3年1月9日から11日までの3日間東京都にて開催予定でありました「日本の技EXPO」も開催直前に緊急事態宣言が発令され、急遽延期が発表されました。誠に残念ではございますが、このような状況でも開催直前まで参加者及び関係者の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

今年度はコロナ禍のため役員会も思うように開催することができず、各行事が中止となり満足のない活動ができませんでした。来年度はこの社会情勢が徐々に落ち着き、各種対策をしつつ通常通り活動出来ればと思っております。

ただ、このような中でも喜ばしい出来事がありました。それは【伝統建築工匠の技】が

2020年12月17日に左官(日本壁)を含む17団体がユネスコ無形文化遺産に登録されました。このことは大変喜ばしいことと同時に、光栄に存じます。これもひとえに、技術を絶やさず紡いできた先人の方々、関係各位様の御支援とお力添えの賜物です。この場をお借りして感謝申し上げます。

このことをきっかけに一般の方々に認知していただき、若手職人が増加することを願っております。ユネスコ登録により一層気を引き締めて参り、他保存会様と連携し文化財だけでなく日本固有である匠の技を絶やさず継承し、日本だけでなく世界の人々により認知していただきたいと、痛感する次第でございます。

このような状況ではあります。今後とも、より一層当会の発展のため皆様の御支援・御協力

をよろしくお願い申し上げます。

## 「左官(日本壁)」がユネスコ無形文化遺産に登録

令国の選定保存技術であります「左官(日本壁)」、「建造物修理」、「建造物木工」、「檜皮葺・柿葺」、「建造物彩色」、「屋根瓦葺」、「建具製作」、「畳製作」など計17件が、令和2年12月17日「伝統建築工匠の技：木造建築物を受け継ぐための伝統技術」として、ユネスコ無形文化遺産に登録(代表一覧表記載)されました。

### 会長コメント

日頃は文化庁様始め関係各位様の御支援のもと、会の目的である文化財建造物の保存における壁技術の伝承及び技能者の育成に努めているところであります。

文化財建造物は、先人が遠く昔から蓄積してきた日本人の誇

るべき生きて来た証であり、また後世に引き継がれるべき歴史の遺産であります。

この度、伝統建築工匠の技が世界遺産に登録される事になりました。誠に喜ばしきことでもあります。日本人自身、伝統建築を見直すべきよい機会であり、我国の希少な技術であります「技」を引き継ぐべく、若手後継者の生活環境を整えられるよう、各界の御支援をよろしく御願い申し上げます。

### 登録記念奉祝会

ユネスコ無形文化遺産登録記念奉祝会が、令和2年12月18日に京都で開催されました。

全国文化財壁技術保存会、日本伝統建築技術保存会、日本伝統瓦技術保存会、全国社寺等屋根工事技術保存会、社寺建造物美術保存技術協会、全国伝統建築技術保存会、文化財畳保存会、他が参加し登録を祝いました。



## 愛知県文化遺産保護 功労者表彰に壁保存会 が表彰される

愛知県では、ユネスコに登録されて文化遺産の保護及び伝統文化の継承に貢献している保護団体の功績をたたえるため「愛知県文化遺産保護功労者表彰」が新設されました。

これについて「全国文化財壁技術保存会」がユネスコ無形文化遺産の保護活動に多大な貢献をしているとの評価を受け、表彰されることになりました。

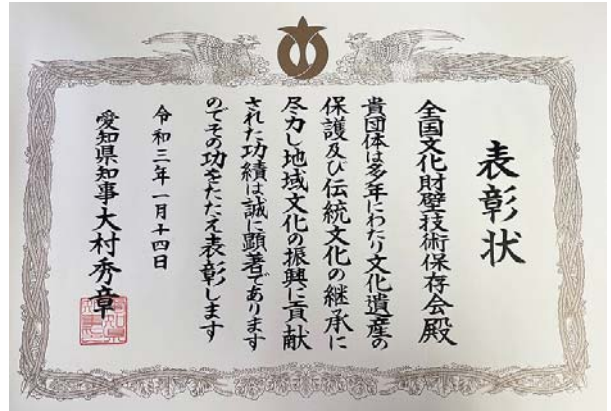
表彰式は令和3年1月14日、愛知県議会議事堂において行われ、中嶋副会長が出席し、愛知県知事より表彰状が授与されました。

本会としまして、ユネスコ無形文化遺産登録とともに喜ばしい限りです。





**新会員の紹介**  
**佐藤ひろゆき**  
 (有)京壁井筒屋佐藤



この度、全国文化財壁技術保存会に入会いたしました、(有)京壁井筒屋佐藤の佐藤ひろゆきと申します。

長年に亘り京都で数寄屋建築の土壁を施工してまいりましたが、今回壁保存会に参加させていただき、更なる研鑽を積めることを楽しみにしております。また、全国の伝統技術を修める左官職の皆さんと交流を持てることは、伝統的な左官技術の発展に大いに意義のあることだと考えております。

私自身、かなり歳を重ねておりますが、まだまだ意気軒高と自負しており、会の益々の発展に寄与できれば、と考えております。どうぞ今後とも宜しくお願いたします。

**全国文化財壁技術保存会**  
**PR映像の紹介**

保存会では初めてPR用の映像(動画)を制作しました。その一部を写真で紹介いたします。



姫路城修理の様子



**土壁塗り**

小舞掻き、荒壁塗り、斑直し、中塗り、上塗り、の順に塗って行きます。



小舞掻き



小舞掻き



荒壁はクリッと出るくらい  
力を入れて押し付けながら塗る

荒壁塗り



荒壁塗り



斑直し



斑直し



中塗り



中塗り



荒壁用の苧



荒壁土

・土づくり  
荒壁用の土や中塗り用の土を  
作ります。





中塗り土づくり



荒壁土練り



中塗り土練り



中塗り土づくり



壁土の製造



壁土の採取

・壁塗り材料の製造  
壁土の製造、上塗り用珫の製造です。



上塗り用珫の製造



上塗り用珫の製造



・漆喰材料及び漆喰づくり

材料は石灰・海藻・麻苳などです。石灰・麻苳などを、海藻の煮出し糊で練り作ります。



海藻糊づくり



漆喰の材料



海藻糊づくり



海藻糊づくり



糊に苳混ぜ作業



苳のほぐし作業



漆喰の出来上がり



漆喰づくり

・壁の上塗り(漆喰)仕上げ

上塗り(下砂漆喰)、上塗り(上塗り用漆喰)、本塗り(こなし)、鋼かけ、の順に塗り上げます。



上塗り(下砂漆喰)



上塗り(下砂漆喰)



上塗り(上塗り用漆喰)



上塗り(上塗り用漆喰)



鋼かけ



本塗り(こなし)



・道具づくり

鍍の製造です。



・研修会の実施

保存会の主要事業として、基礎講座、普通講座、中級研修を行い、技術の伝承に努めています。



基礎講座（三和土）



基礎講座（三和土）



基礎講座（小舞搔ぎ）



基礎講座（小舞搔ぎ）



普通講座（大津壁）



講義



普通講座（鍔絵）



普通講座（大津壁）



中級研修 (筆記)



普通講座 (鍍絵)



中級研修実技 (六葉の漆喰塗り)



中級研修実技 (額縁の漆喰蛇腹)



姫路城漆喰塗り体験会



姫路城漆喰塗り体験会

・イベントの開催  
 「姫路城漆喰塗り体験会」や「日本  
 の技 体験フェア」を毎年開  
 催しています。



日本の技 体験フェア



日本の技 体験フェア



## 重要文化財 門司港駅 本屋 修復工事

中島左官(株)

関門海峡を挟んだ九州側の玄関口、北九州市にある門司港駅舎は木造2階建てのネオ・ルネッサンス様式と呼ばれる左右対称の外観をもつ建物です。

1988年に駅舎としては全国で初めて、重要文化財に指定されました。現役の駅舎で重要文化財に指定されているのは、門司港駅と東京駅の2つだけです。

この建物の修復工事は、2012年9月から6年以上の歳月をかけて行われました。工事は1914年(大正3年)竣工時の姿への復元を目指し、設計管理者を中心に解体調査が念入りに行われました。左官工事においては、

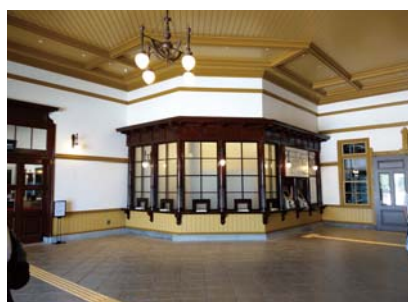
外部は主にモルタルに色粉を加え、当時の色彩を再現することになりました。色粉の分量を調整し、色

の見本を何度も作成し、検討の上決定しました。下地は棕櫚縄と釘で作った自家製の髭子で瓦を張り、下地から大正時代の仕事を復元しました。また柱型や窓の面台、腰の蛇腹など、平面の壁だけではなく役物が非常に多く、左官技術や知識を必要とする工事でした。内部の工事は木摺り下地に尺トンボを取付け漆喰で伏せこみながら下塗りを行い、その上に砂漆喰中塗の際に寒冷紗を伏せ、さらにステンレス製のワイヤーを尺角のマス目になるようビスで止める新しい工法での補強を行いました。そして、中塗り乾燥後に漆喰の上塗を行いました。中塗で行った補強は、工事が始まる前に試験体を何ども作成し、構造実験を行ったうえで

採用された工法です。工事が進むにつれ次第に迫力のある建物が完成していく様子にうれしく思いました。

この工事では、年配の職人から20代や30代の若い職人に多くの左官技能や知識を伝えられる機会となり、この経験を生かし若い職人たちが活躍していける環境を整えていければと思います。

国宝・重要文化財等の工事に携わられる事業所の方がおられますら、当会で一緒に情報交換や技術向上を図れることも願っています。



## 若手職人

### 大田雄介 (株)山脇組

私が左官を始めたきっかけは、父が左官業をしていたからです。

当時高校を中退していた私は、父から「フラフラしているよりも左官の仕事を手伝ってみないか?」と言われ、特に将来やりたい仕事も無かったので仕方なくという感じで左官を始めました。しかしいざ始めてみると壁を塗るところが楽しく思え、また左官の奥深さにも気付きました。扱う材料や環境によって仕上げるタイミングが違ったり、材料の配合や水加減の通し方によっても仕上がりは変わってきます。

現在は(株)山脇組において、姫路城の漆喰工事や野丁場の仕事に携

わっています。山脇組に入っただけでは、保存会の研修にも参加させて頂き、自分の携わっている仕事の尊さに改めて気付く事ができ、先人の方々が守ってきた伝統と技術を後世に遺していかねければいけないと思っています。近年では職長として現場に入る機会も増え、辛い事もありますが、一つの現場を納める度に達成感があり充実しています。まだまだ自分の経験した事のない仕事もあるので、何事にも好奇心を持って挑戦していきたいと思っています。

また、左官業界の高齢化もあり、人材不足が囁かれる業界において、私のような若輩者でも目の前の仕事に真摯に向き合う事により、左官業界の活性化に微力ながらも貢献出来ればと思っています。



## 編集だより

会報の発行にあたり、原稿をお寄せいただきました皆様方に御礼申し上げます。

昨年からは新型コロナウイルスにより活動がほとんど出来なくなりました。このような中、ユネスコの無形文化遺産登録及び愛知県による表彰と、嬉しいニュースを掲載できホッと一息です。来年度は、少しでも多くの活動が出来ますことを願っています。

事務局の加藤大地様には、原稿収集・校正等ご尽力を頂きました。改めて御礼申し上げます。  
(編集・保存会顧問 上田耕三、事務局 中嶋正雄)

保存会ホームページアドレス  
Kabehozonkai.sakura.ne.jp  
事務局 Eメール  
kabehozonkai@outlook.jp



選定保存技術左官（日本壁） 技能者認定者名簿

番号	氏 名	所属事業所(交付時)	認定証交付日
1	奥 井 五十吉	(株) 奥 井 建 設	平成17年4月1日
2	田 代 益 市	(有) 田 代 千 治 店	//
3	佐 藤 治 男	左 官 業 佐 藤	//
5	山 脇 光 弘	(株) 山 脇 組	//
6	中 島 正 雄	中 島 左 官 (株)	//
7	津 田 誠 一	(有) 津田左官工業所	//
8	片 田 儀 斎	片田儀斎営業所	//
9	安 達 保 信	(有) 安 達 左 官 店	//
10	堀 喜 晴	堀 左 官 店	//
11	小 林 錦四郎	小 林 左 官 店	//
12	浅 原 雄 三	し っ く い 浅 原	//
13	本 田 昇	本 田 左 官 工 業 所	//
14	石 田 貞 男	石 田 左 官 工 業	//
15	松 本 勉	(有) 左 官 松 本 組	//
16	十 倉 康 光	(有) 安 達 左 官 店	平成18年7月5日
17	長谷川 喜 三	(株) 奥 井 建 設	//
18	宮 川 清	(株) 奥 井 建 設	//
19	高 木 明	中 島 左 官 (株)	//
20	天 池 三 郎	中 島 左 官 (株)	//
21	長 縄 厚	中 島 左 官 (株)	//
22	杉 坂 健	中 島 左 官 (株)	//
23	津 田 弘 道	(有) 津田左官工業所	//
24	福 島 政 和	(有) 津田左官工業所	//
25	山 脇 一 夫	(株) 山 脇 組	令和元年5月12日
26	細 江 洋 平	中 島 左 官 (株)	//
27	中 嶋 英 貴	中 島 左 官 (株)	//
28	荒 木 孝 行	(株) あじま左官工芸	//
29	笹 原 剛	(株) あじま左官工芸	//
30	志 村 まい子	しゃかん かとう屋	//
31	山 本 登	ヤ マ モ ト 左 官	//
32	柴 田 正 樹	(株) 山 脇 組	//
33	石 田 均	石 田 左 官 工 業	//

## 選定保存技術左官(日本壁) 伝承者養成技術研修会 受講修了者名簿

	番号	氏 名	所属事業所(交付時)	生 年	修了証交付日
第1期生	1	浅原 一郎	しっくい浅原	昭和48年	平成17年4月1日
	2	安達 明宏	(有)安達左官店	昭和39年	//
	3	北村 久彦	(有)津田左官工業所	昭和50年	//
	5	柴田 正樹	(株)山 脇 組	昭和50年	//
	6	中島 英貴	中島左官(株)	昭和52年	//
	7	矢野 孝太郎	しっくい浅原	昭和48年	//
第2期生	8	勝木 巖	左官業 佐藤	昭和37年	平成18年4月1日
	9	清水 達朗	(有)田代千治店	昭和49年	//
	10	廣田 直人	しっくい浅原	昭和44年	//
	11	山脇 一夫	(株)山 脇 組	昭和55年	//
	12	伊佐次 卓也	中島左官(株)	昭和59年	//
	13	高屋 忠光	(有)田代千治店	昭和48年	//
第3期生	14	香取 寛隆	(有)安達左官店	昭和51年	//
	15	本田 俊之	本田左官工業所	昭和56年	平成21年4月1日
	16	石田 均	石田左官工業	昭和33年	//
	17	大森 祐郎	(有)田代千治店	昭和51年	//
	18	塩畑 明浩	(株)山 脇 組	昭和62年	//
第4期生	19	田中 昭義	左官業 佐藤	昭和48年	//
	20	水野 秀紀	中島左官(株)	昭和52年	平成22年4月1日
	21	吉川 司	(株)山 脇 組	昭和48年	//
	22	大石 晃司	左官業 佐藤	昭和53年	//
	23	及川 敏	(株)あじま左官工芸	昭和39年	//
	24	小迫 傳	小迫左官	昭和22年	//
第5期生	25	山本 登	小迫左官	昭和35年	//
	26	志村 まい子	中島左官(株)	昭和58年	//
	27	荒木 孝行	(株)あじま左官工芸	昭和48年	平成25年4月1日
	28	永井 宏和	(株)山 脇 組	昭和55年	//
	29	淵田 桂太	中島左官(株)	昭和52年	//
第6期生	30	本田 英雅	佐藤左官工業所	昭和45年	//
	31	御園 拓馬	本田左官工業所	昭和60年	//
	32	足立 純	(株)足 立 組	昭和47年	平成26年4月1日
	33	笹原 剛	(株)あじま左官工芸	昭和54年	//
	34	中田 一真	(株)イ ス ル ギ	昭和59年	//
	35	野村 智広	佐藤左官工業所	昭和57年	//
	36	細江 洋平	中島左官(株)	昭和57年	//



	番号	氏 名	所属事業所(交付時)	生 年	修了証交付日
第7期生	37	今 成 辰 夫	吉 村 興 業(株)	昭和51年	平成29年4月1日
	38	太 田 勝 之	太 田 左 官	昭和47年	//
	39	大 田 雄 介	(株)山 脇 組	昭和63年	//
	40	加 藤 正 幸	しゃかん かとう屋	昭和47年	//
	41	木 谷 直 充	(株)しっくい浅原	昭和62年	//
	42	永 井 貴 晃	(株)イ ス ル ギ	昭和61年	//
	43	原 慶 介	原 左 官 工 藝	昭和53年	//
	44	森 田 真 伍	中 島 左 官(株)	昭和61年	//
第8期生	45	上 床 匡 史	中 島 左 官(株)	平成元年	平成30年4月1日
	46	小 島 徹 也	(有)津田左官工業所	昭和63年	//
	47	竹 内 一 司	(株)山 脇 組	昭和44年	//
	48	深 井 浩 昭	吉 村 興 業(株)	昭和44年	//
	49	藤 本 健一郎	原 左 官 工 藝	昭和42年	//
	50	丸 橋 優 樹	(株)しっくい浅原	昭和58年	//

選定保存技術左官(日本壁) 伝承者養成技術研修会 中級研修受講修了者名簿

	番号	氏 名	所属事業所(交付時)	生 年	修了証交付日
第1期生	1	浅 原 一 郎	(株)しっくい浅原	昭和48年	平成25年4月1日
	2	北 村 久 彦	(有)津田左官工業所	昭和50年	//
	3	杉 坂 健	中 島 左 官(株)	昭和38年	//
	4	田 中 昭 義	(有)京壁 井筒屋佐藤	昭和51年	//
	5	矢 野 孝太郎	(株)しっくい浅原	昭和48年	//
第2期生	6	安 達 明 宏	(有)安 達 左 官 店	昭和39年	平成27年4月1日
	7	榎 本 英 樹	木 津 工 業 所	昭和45年	//
	8	及 川 敏	(株)あじま左官工芸	昭和39年	//
	9	大 石 晃 司	(有)京壁 井筒屋佐藤	昭和53年	//
	10	小 林 常 司	左 官 工 芸 有 限 公 司	昭和43年	//
	11	佐 伯 愛 子	木 津 工 業 所	昭和52年	//
	12	志 村 まい子	しゃかん かとう屋	昭和58年	//
	13	長 谷 清 高	(株)あじま左官工芸	昭和47年	//
第3期生	14	笹 原 剛	(株)あじま左官工芸	昭和54年	平成29年4月1日
	15	清 水 達 朗	(有)田代千治店	昭和49年	//
	16	今 成 辰 夫	吉 村 興 業(株)	昭和51年	令和元年5月12日
	17	太 田 勝 之	太 田 左 官	昭和47年	//
	18	木 谷 直 充	(株)しっくい浅原	昭和62年	//
	19	原 慶 介	原 左 官 工 藝	昭和53年	//

## 会 員 名 簿

	会 員 名	住 所	事業所名等	左官関係所属団体
正 会 員	安 達 保 信	京都市下京区花屋町通り間の町西入る天神町411-2	(有) 安 達 左 官 店	京都左官協同組合
	中 嶋 正 雄	愛知県江南市力長町大当寺128	中 島 左 官 (株)	愛知県左官業協同組合
	田 代 益 市	京都市下京区猪熊通り塩小路下る上夷町165	(有) 田 代 千 治 店	京都左官協同組合
	石 田 均	香川県さぬき市大川町富田中2147	石 田 左 官 工 業	
	小 林 錦四郎	和歌山県有田郡湯浅町湯浅2132-17	小 林 左 官 店	
	津 田 弘 道	滋賀県大津市下阪本1丁目20-22	(有) 津田左官工業所	滋賀県左官工業組合
	山 脇 一 夫	兵庫県姫路市飯田1-24	(株) 山 脇 組	日本左官業組合連合会 兵庫県左官工業協同組合 播磨左官組合
	浅 原 雄 三	京都市山科区大宅沢町185	(株) し っ く い 浅 原	京都左官協同組合 日本漆喰協会
	片 田 儀 斎	京都市上京区中立売通小川西入ル三丁目440-5	片 田 儀 斎 営 業 所	京都左官協同組合
	本 田 俊 之	大阪府寝屋川市高柳2丁目43-13	本 田 左 官 工 業	
	松 本 勉	高知県安芸市井ノ口乙1202-3	(有) 左 官 松 本 組	日本左官業組合連合会
	阿 嶋 一 浩	東京都葛飾区青戸8丁目19-11	(株) あ じ ま 左 官 工 芸	日本左官業組合連合会 日本漆喰協会
	小 林 常 司	京都市中京区東洞院蛸薬師下る元竹田町639-11	左 官 司	京都左官協同組合
	加 藤 正 幸	三重県伊賀市東高倉2380-11	しゃかん かとう屋	日本左官業組合連合会
	佐 藤 ひろゆき	京都市上京区御前通下立売上る仲之町296	(有)京壁井筒屋佐藤	
準 会 員	足 立 三喜男	兵庫県三木市緑が丘町東1-3-4	(株) 足 立 組	兵庫県左官工業協同組合
	石 動 信 明	石川県金沢市神田1丁目31番1号	(株) イ ス ル ギ	日本左官業組合連合会 大阪府左官工業組合 石川県左官業組合連合会
	桑 路 丸 幸	兵庫県神崎郡市川町沢115-2	桑 路 建 塗 (株)	日本左官業組合連合会
	木 津 恵 雄	京都市東山区古門前通り大和路東入る二丁目三吉町344	木 津 工 業 所	京都左官協同組合
	太 田 勝 之	香川県三豊市豊中町笠田笠岡3156-3	太 田 左 官	日本左官業組合連合会
	原 健 一	和歌山県和歌山市湊御殿2丁目6	原 左 官 工 藝	和歌山県左官技能士会
	吉 村 誠	東京都中野区上鷺宮4丁目10番6号	吉 村 興 業 (株)	日本左官業組合連合会
	原 田 正 一	山形県山形市大字中野423-1	原 田 左 官 工 業 所	山形県左官工業組合 山形市左官業組合
	山 本 登	大阪府河内長野市千代田台町17-21	ヤ マ モ ト 左 官	
塩 谷 洋 晴	愛知県半田市大和町1-57	大 和 左 官		
賛 助 会 員	宮 谷 邦 夫	兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘35番地の69	宮 谷 製 作 所	兵庫県左官工業協同組合
	村 檉 太 郎	栃木県佐野市宮下町1番10号	村 檉 石 灰 工 業 (株)	
	北 野 一 成	大阪府堺市中区深井北町104-2	(株) 北 正 商 店	
	尾 崎 良 弘	京都市伏見区深草大亀谷西久宝寺町7	尾 崎 色 土 製 造 所	
	鳥 越 宣 宏	大分県津久見市徳浦2052-5	(株) 丸 京 石 灰	日本漆喰協会